

- 問1 ある都市の統計において、第3次産業の就業者割合が約84.5%と非常に高く、65歳以上の高齢者割合も約31.0%に達している場合、その都市の産業特性として考えられる内容を次の中から選びなさい。(2019年 佐賀公立入試 類似)
1. 温泉などの観光資源を基盤とした宿泊業・サービス業が産業の主軸となっており、観光に従事する人々が産業の大部分を占めている。
  2. 高速道路のインターチェンジ付近に半導体工場などの工業団地が形成されており、製造業に従事する第2次産業の割合が高い。
  3. 平野部において高度に機械化された稲作が行われており、周辺自治体に比べて第1次産業の就業者数が突出している。
  4. 大都市圏のベッドタウンとして機能しており、都心部へ通勤する会社員が多いため、夜間人口が昼間人口を大きく上回っている。
- 問2 日本の畜産業において「宮崎牛」に代表されるような取り組みが行われている理由を、市場の状況から説明したものととして正しいものはどれですか。(2023年 福島県公立入試 類似)
1. 安価な外国産の肉の輸入増加に対し、品質の向上による差別化で対抗するため。
  2. 国内の肉の消費量が急激に減少したため、生産量を減らして希少価値を高めるため。
  3. 外国産の肉よりも価格を安く設定し、低所得者層向けの市場を開拓するため。
  4. すべての国内産の肉を同じ名称で統一し、消費者が選びやすくするため。
- 問3 日本の都道府県別の茶の生産量割合を示した統計資料において、一位の静岡県(約40%)に次いで、国内第二位となる28.6%の割合を占めている九州地方の県はどこですか。(2017年 岐阜公立入試 類似)
1. 鹿児島県
  2. 宮崎県
  3. 福岡県
  4. 三重県
- 問4 九州地方の農業の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。(2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。
  2. 九州南部は平野が広く水利が良いため、農業産出額のほとんどを米(稲作)が占めている。
  3. シラス台地は保水力が非常に高いため、サトウキビなどの工芸作物を中心とした農業が行われている。
  4. シラス台地の地層は果樹栽培に最も適しているため、リンゴやブドウの産出額が全国1位となっている。
- 問5 九州地方の製造業出荷額において、1980年には鉄鋼や化学が上位を占めていましたが、2000年には電気機械が首位となり、輸送用機械も上位に食い込むようになりました。このように、高度な技術を用いて部品を組み立てることで製品を生産する産業を何と呼びますか。(2016年 神奈川県公立入試 類似)
1. 加工組立型産業
  2. 基礎素材型産業
  3. 生活関連型産業
  4. 知識集約型公共産業
- 問6 日本の九州地方に位置するある県では、農業産出額の構成において「米」や「野菜」と比較して「畜産」が占める割合が非常に高く、全体の約半分に達するという特色があります。肉用牛、豚、鶏の飼育が盛んなこの県はどこですか。(2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 宮崎県
  2. 新潟県
  3. 青森県
  4. 埼玉県
- 問7 沖縄県と全国の就業者数比率を比較したとき、沖縄県の産業構造に見られる顕著な特徴として正しいものはどれですか。なお、全国の製造業の割合が15.8%であるのに対し沖縄県は5.0%、医療・福祉の割合は全国の12.5%に対し沖縄県は15.7%という統計結果に基づきます。(2022年 沖縄公立入試 類似)
1. 製造業の割合が全国に比べて大幅に低く、第3次産業の割合が高い
  2. 第2次産業の割合が全国平均を大きく上回り、工業化が進んでいる
  3. 第1次産業から第3次産業まで、すべての就業者比率が全国平均と一致している
  4. 医療・福祉の就業者数が極端に少なく、製造業が県内最大の雇用を生んでいる
- 問8 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。(2017年 京都公立入試 類似)
1. まだい
  2. ほたてがい
  3. さけ
  4. かつお
- 問9 高度経済成長期の日本において、北九州市などの工業地帯を中心に発生した、工業化に伴う環境破壊を総称して何と呼びますか。また、その主な内容を説明したものととして適切なものはどれですか。(2017年 長野県公立入試 類似)
1. 公害：工場から排出される排煙による大気汚染や、排水による水質汚濁などのこと。
  2. 地球温暖化：化石燃料の使用によって二酸化炭素が増加し、地球全体の気温が上昇すること。
  3. 自然災害：台風や地震などの自然現象によって、建物や人命に直接的な被害が出ること。
  4. ヒートアイランド現象：都市部の建物やアスファルトの影響で、周辺部より気温が高くなること。
- 問10 九州にある特定の都市の産業別就業者割合を調査したところ、就業者全体の3分の1以上(約33.5%)が、製造業や建設業といった第2次産業に従事していることがわかりました。この都市の産業構造に見られる主な特徴として、最も適切な説明はどれですか。(2019年 佐賀公立入試 類似)
1. 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。
  2. 広大な平野を活用した米作りや施設園芸といった第1次産業が中心である。
  3. 行政機関や商業施設が集積し、卸売業や小売業などの第3次産業が極めて盛んである。
  4. 歴史的な建造物や自然景観を活かした観光業が、地域経済の基盤となっている。
- 問11 1月の気温が15度を超え、梅雨や台風の影響を受ける7月・8月に降水量のピークがある気候統計を示し、年間の降水量が2100mmを超える沖縄県の都市について、その都市名と行政上の役割の組み合わせとして正しいものはどれか。(2024年 長野県公立入試 類似)
1. 那覇市 — 沖縄県の県庁所在地
  2. 沖縄市 — 沖縄県の県庁所在地
  3. 那覇市 — 九州地方全域を統括する政令指定都市
  4. 名護市 — 沖縄本島南部を管轄する行政の中心地
- 問12 九州地方の自然環境と火山に関係する地形の説明として、成り立ちや特徴が正しいものはどれか。(2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 火山の爆発や陥没によってできたカルデラは、阿蘇山だけでなく、海面の下に沈んで入り江となった鹿児島湾の一部にも見られる。
  2. 火山灰が厚く積み重なってできたシラス台地は、保水力が非常に高いため、古くから稲作が盛んな地域として利用されてきた。
  3. カルデラとは、火山から流れ出した溶岩が川をせき止めて作った平坦な土地のことであり、熊本県の中央部に広く分布している。
  4. 阿蘇山周辺に見られる広大なくぼ地は、河川の浸食作用によって数千年かけて削られたもので、九州地方最大の盆地である。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 温泉などの観光資源を基盤とした宿泊業・サービス業が産業の主軸となっており、観光に従事する人々が産業の大部分を占めている。	第3次産業の割合が8割を超えるような極めて高い数値は、観光業に特化した都市で見られる典型的な特徴です。特に温泉地のような歴史ある観光地では、産業構造がサービス業に偏る一方で、現役世代の減少により高齢化が進んでいるケースが多く見られます。製造業が中心の場合は第2次産業が、農業中心の場合は第1次産業が一定の割合を占めるため、これほど第3次産業に偏ることはありません。
問2	答え 1 安価な外国産の肉の輸入増加に対し、品質の向上による差別化で対抗するため。	安価な外国産の肉との価格競争を避けるためには、消費者に「高くても買いたい」と思わせる理由が必要です。地域名などを冠したブランド化は、消費者に安心感や高級感といった品質面での優位性をアピールする有効な手段となっており、九州地方をはじめとする日本の畜産農家の重要な生存戦略となっています。
問3	答え 1 鹿児島県	2015年の統計において、鹿児島県は全国の茶生産量の約28.6%を占める一大産地となっています。九州地方は茶の栽培が盛んですが、その中でも鹿児島県は広大な平坦地（シラス台地など）を活用した大規模な機械化栽培が行われており、静岡県に次ぐ全国第2位の生産量を維持しています。
問4	答え 1 宮崎県や鹿児島県では、シラス台地という火山灰由来の土地が広がっているため、農業産出額において畜産が占める割合が非常に高い。	鹿児島県や宮崎県の農業統計を見ると、豚や鶏、肉用牛といった「畜産」の割合が、他県に比べて突出して高いことがわかります。これは、火山灰が堆積したシラス台地という特殊な地形が広がっていることが関係しています。シラス台地は水もちが悪く稲作が困難であったため、その広大な面積を有効に活用できる畜産業が地域の基幹産業として定着しました。
問5	答え 1 加工組立型産業	電気機械や自動車（輸送用機械）のように、多くの部品を組み合わせで最終製品を作る産業を加工組立型産業と呼びます。九州では、高速道路網の整備や豊富な水資源、労働力を背景にこれらの工場が増加しました。一方、原材料を加工して他の産業の土台となる素材を作る鉄鋼や化学などの産業は基礎素材型産業と呼ばれ、以前に比べて出荷額に占める割合は低下しています。
問6	答え 1 宮崎県	九州地方南部に位置する宮崎県は、シラス台地などの火山灰層が広がる地形的制約もあり、古くから広大な土地を活かした畜産業が発展してきました。全国でも有数の農業産出額を誇り、特に肉用牛や豚、ブロイラー（鶏）の生産で全国トップクラスのシェアを占めています。他の選択肢について、新潟県は米、青森県は果実（りんご）、埼玉県は近郊農業による野菜の産出額割合が高いのが特徴です。
問7	答え 1 製造業の割合が全国に比べて大幅に低く、第3次産業の割合が高い	沖縄県の産業構造は、全国平均と比較して第2次産業（特に製造業）の割合が極めて低く、一方で第3次産業の割合が高いという独自の特徴があります。2021年のデータでも、製造業の就業者比率が全国の3分の1以下であるのに対し、観光や生活に関連する第3次産業が経済の大きな柱となっていることがわかります。
問8	答え 1 まだい	長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ふぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせで生産することで、高い生産額を維持しています。
問9	答え 1 公害：工場から排出される排煙による大気汚染や、排水による水質汚濁などのこと。	急速な工業化が進んだ時期、適切な対策が取られないまま工場から有害物質が排出されたことで、健康被害や生活環境の悪化を招く「公害」が全国で発生しました。特に北九州市では、石炭や鉄鋼などの重工業が盛んだったため、排煙による大気汚染や、工場排水による水質汚濁が深刻な社会問題となりました。これらは人間の経済活動によって引き起こされたものであり、自然現象による災害や、地球規模の環境変化とは区別されます。
問10	答え 1 大規模な自動車の組立工場や関連部品工場が集まって立地している。	自動車の組立工場や部品工場が多く立地する都市では、製造業に携わる労働者が多くなるため、第2次産業の就業者割合が他の都市に比べて高くなる傾向があります。九州では、輸送用機械などの製造業が盛んな都市がこの特徴に合致しており、商業が中心の都市に比べて第2次産業の割合が突出して高いのが特徴です。
問11	答え 1 那覇市 — 沖縄県の県庁所在地	那覇市は沖縄県の県庁所在地であり、政治・経済・文化の中心地です。気候面では、夏から秋にかけて発生する台風の影響を強く受けるため、7月や8月の降水量が非常に多くなる傾向があります。沖縄市は県内で2番目に人口が多い都市ですが、県庁所在地ではありません。
問12	答え 1 火山の爆発や陥没によってできたカルデラは、阿蘇山だけでなく、海面の下に沈んで入り江となった鹿児島湾の一部にも見られる。	カルデラは火山活動に伴う陥没によって形成される地形です。阿蘇山の広大な中央低地や、鹿児島湾（錦江湾）の奥にある始良カルデラなどがその代表例です。選択肢にあるシラス台地は火山灰由来ですが、水はけが良すぎて稲作には不向きであり、畑作や畜産が中心となっています。また、カルデラは河川の浸食ではなく火山の陥没によって形成されるため、一般的な盆地とは成因が区別されます。